

第 57 回

京都スキー協議会定期総会議案書

2026 年 7 月 12 日（日）

14：00～17:00

於 教育文化センター 101 号室



第 57 回京都スキー協議会定期総会次第

○ 司会者挨拶

1. 開会の挨拶
2. 議長選出
3. 祝電の紹介
4. 2024 年度活動報告および 2025 年度活動方針の提案

2025 年度の取り組みと総括および 2026 年度の活動方針(案)

技術・指導員部

競技部

企画部

機関紙部

安全対策部

山スキー部

SNS 部

2025 年度一般会計決算報告および 2026 年度一般会計予算(案)

スキーマイト会計報告

会計監査報告

5. 2025 年度活動報告・決算報告および 2026 年度活動方針・予算(案)に対する質疑
6. 2025 年度活動報告・決算報告および 2026 年度活動方針・予算(案)の採決
7. 第 57 期運営委員の選出
8. 新役員の紹介と代表挨拶
9. 議長解任
10. 閉会の挨拶

今年度の取り組みと総括・来年度の方針（案）

はじめに

新役員体制のもとで三役会議はオンライン、運営委員会は事務所参加とオンライン参加を併用して毎月開催し、様々な行事などを企画してきました。また、バスツアーの実行委員会も7回開催してきました。

[1] 京都スキーとしての取り組み

(1) ジョイナススキーツアーについて

- ・今年も近郊の「ハチ高原」で開催し、30名の参加があり楽しい企画が出来ました。
- ・実行委員会での総括では、クラブ員だけで人数を集めるのは限界があり、外に向けて宣伝する必要がある。案内チラシの完成・配布を早めるなどの意見がありました。

(2) 今後、様々な参加者を視野に入れた時、日帰りツアーや、クラブ合同ツアーの企画も出来るように検討する必要があります。

[2] 関西ブロック及び全国の活動について

(1) 関西ブロック学習交流会

昨年度の関西ブロック学習交流会は、滋賀県が主管で9月27日に開催し、61人が参加、京都からは7人が参加しました。

今年は和歌山県の主管で8月29日（土）に予定されています。

(2) 関西ブロック協議会

関西ブロックの行事にも積極的に参加して各府県との交流発展に寄与し、事務局長を担うなど中心的な役割を果たしています。

(3) 全国理事会と全国総会・代表者会議

理事会や総会・代表者会議に参加してさまざま発信をしています。全国理事会、全国代表者会議等はオンラインでの開催でした。

(4) 競技部

全国競技大会や東海・関西ブロックの合同の競技大会には競技部が中心に参加してきました。

(5) 技術部

関西ブロック技術委員会の牽引車としての役割を担い、技術向上に貢献しています。

(6) 山スキー部

今後も、関西ブロックや全国の企画の情報を知らせていきます。

[3] 新日本スポーツ連盟京都府連盟の活動について

理事を選出して京都スポーツ連盟の取り組みにも積極的に参加し、京都のスポーツの発展に貢献してきました。今年度の総会には代議員として参加し、スキー協議会としての意見を発信してきました。

[4] 専門部体制と専門部活動について

専門部体制や役割分担において、多くの部員がそれぞれ奮闘して今期も活動してきましたが改善すべき課題もあります。

(1)広報・機関紙活動について

この活動は日常的な活動が伴い、任務荷重にならないように体制を強化することが重要です。

機関紙活動は、京都スキー協通信の発行や、そのための記事の収集、編集など多種多様な活動が組織的に行なえるようにしていかなければなりません。また、全国スキー協やスキーマイトなどへの投稿も必要です。

ホームページは、体制づくりが定着し毎月更新が来ています。各クラブからの報告を寄せてください。更に、要求に見合うように取り組んでいきます。

昨年度、リーフは作成しませんでした。今年度は発行を検討し、京都スキー協の宣伝をしていきます。

(2)専門部活動については各部から報告します。

- ①技術・指導員部 ②競技部 ③企画部 ④機関紙部 ⑤安全対策部
⑥山スキー部（再開をめざす） ⑦SNS部 ⑧スキーマイト

(3)決算報告と予算（案）の提案

(4)その他

[5] 会員拡大と組織の活性化のための方針について

①様々な行事を成功させ新しい会員を増やしていく方針で、今年度も各行事の中で会員拡大が出来ました。今後も、各クラブ会員の周りにはいるスキー愛好家とどう繋がっていくのかが重要な課題になっています。

②「スキー協議会」は、スキー界ではまだまだ一部の方しか知られていないのが現状です。様々な機会を利用してパンフレットの普及や、SNSを活用しての宣伝など、更に検討していく必要があります。

また、労組・団体や府連盟の方々への呼びかけをしていきます。

③今年度は4人増えましたが7人減り、1年間のトータルは「-3人」となり、総会時点では「91人」になりました。

早急に「100人」に戻したいと思います。各クラブが1人を増やせば達成します。

そして、今期中に「120人」を目指していきます。

来年の総会までに、各クラブで「会員を1人増やす」「メイト1部増やす」ことを目標にします。

京都スキー協の企画を成功させることや、各クラブ行事を旺盛にすることが大切です。各クラブでは、冬場のシーズンだけでなく、オフシーズンにもいろいろな企画をし、年間を通じてクラブ員とつながりを持つことが大切なことです。

④今、様々な組織で代代的継承が重視されてきています。若い世代とどうつながりをもっていくかが大切です。若い世代などが参加しやすい、休日を利用した日帰りツアーなども検討していく必要があると思います。

各クラブでも、このことについて話し合ってください。総会でも、是非みなさんのご意見を伺いたと思います。

京都スキー協の将来を見据えて、新たな役員体制を検討して、専門部も補強するなど、後継者を育て世代交代をしていくことが重要です。

< 技術指導員部 >

~ この 1 年の主な取組 & 行事 ~

- ・ 9 月 13 日 (土) 技術・指導員部会 出席 7 名
 - (1) 技術・指導員部会の体制について
 - (2) 2025 年度全国スキー協議会・関西ブロック行事の確認
 - (3) 2025 年度京都スキー協指導員会議について
- ・ 9 月 27 日 (土) 関西ブロック学習交流会 (主幹: 滋賀): 明日都浜大津「大津市ふれあいプラザ 4 階ホール」参加 7 名 指導員(初級~上級)理論研修扱い
- ・ 10 月 19 日 (日) 関西ブロック指導員養成座学・研修
京都スポーツ連盟事務所 京都から参加なし
- ・ 11 月 2 日 (日) 京都スキー協 指導員会議 ZOOM 会議 7 名
- ・ 11 月 7 日 (金) 全国技術部会 秋のオンラインミーティング
- ・ 11 月 19 日 (水) 関西ブロック技術委員会 ZOOM 会議 3 名参加
- ・ 12 月 6 日 (土) ~ 7 日 (日) 中央研修会 志賀高原横手山 & 熊の湯スキー場 参加なし
- ・ 12 月 19 日 (金) ~ 21 日 (日) 関西ブロック初滑りレベルアップ・指導員養成・研修会
一ノ瀬スキー場 10 名参加
- ・ 1 月 17 日 (土) ~ 18 日 (日) 京都スキー協指導員雪上研修会
ハチ高原スキー場 9 名参加
- ・ 2 月 14 日 (土) - 2 月 15 日 (日) ジョイナススキーツアー 30 名参加
- ・ 4 月 3 日 (金) ~ 5 日 (日)
関西 B レベルアップ研修 & 指導員検定会 一ノ瀬スキー場 5 名参加
- ・ 5 月 10 日 (日) 技術・指導員部会 シーズンまとめ & 総会議案討議

~ 今年度の取り組みの特徴 ~

1. 長年運営を携わっていただいていたメンバーが部会を抜けられたので、体制変更が必要となり技術・指導員部長と実務事務担当者の交代をおこないました。また、技術指導員部にメンバーを追加して指導員の技術指導部への強化をはかりました。全国技術部会員の交代もおこないました。
2. 2025~26 シーズンは、当初は積雪が少なくシーズン中の積雪を心配する声もきかれましたが、大雪警報が各地で発令されるほど積雪にめぐまれ、計画されたスキー行事が雪不足で中止されることなく実施されました。
3. ジョイナスバスツアーの下見を兼ねた、京都スキー協指導員雪上研修会を 1 月 17 日 (土) ~ 18 日 (日) ハチ高原スキー場「宿泊プラトリーこのはな」で行いました。研修の目的として、「初級指導員実技研修」と「指導員を目指す方」や受検を希望する方にも参加を呼び掛け、初級指導員実技研修の要領に沿いながら、今期のテーマや教程の「深ぼり」を研修参加者で交流し合う場とすることを目的に実施しました。1 泊 2 日の日程でしたが、実施場所が比較的近く講習時間も最大限確保ができました。講習については、新任の技術部長がプログラムを担当し、適宜前技術部長からのアドバイスを受け、ゲレンデコンディションも比較的良好であったことから、参加者からも満足度の高い研修との評価を得ました。ただ指導員が一堂に会する機会であったにも

かわらず、2月のジョイナススキーにおける、指導員の役割やS T Tの実施にかかわる意思統一については、十分取り組めませんでした。

4. 京都スキー協の重要なイベントである、ジョイナススキーツアー（2026年2月14日（土）～15日（日））について、技術指導部として、スキー講習 S T Tの実施を担当しました。スキーツアーには指導員8名が参加し、スキー講習と事務局としてもツアー成功に尽力しました。スキー講習についてはクラス分けをおこない、それぞれの指導員が担当しました。個々の講習内容については満足度高く、指導員1人1人の奮闘が評価されたものと思われます。一方でスキー講習については、体力に応じた班構成やニーズにあった講習の検討が必要との意見も出されています。申し込む時点で、講習班分けを考慮した記載の工夫が必要です。また指導員の個々の役割や担当などについても、事前の調整が十分でなく、今後は指導員会議などで事前の調整が必要です。

S T Tの実施については、ツアー当日まで参加者に声かけを積極的におこない、8名の受験がありました。短時間でしたが事前の講習班も設定して、S T Tの目的やポイントを受験者に伝えられたことは、受験者にも有意義な取り組みとなりました。ただ事前に指導員同士でS T Tの目的や規定・ランクのチェックポイントなどについて、十分な共有ができていなかったことは今後の課題となりました。

5. 今年度、全国スキー協が教程に関するアンケートを実施しました。京都でも6クラブ指導員含め10名から意見がよせられました。現教程改定後7年たって活用方法や浸透度といった視点から実施されました。全国的には約3割の指導員から回答があり、全体の傾向としては「一般会員や指導員にとって技術理解を深めるのに役立っている」と評価。「体系的に整理されている」「共通の指導方針で教えられる」「スキーの楽しさを広げる助けにもなっている」など積極的な評価がある反面、「理論書として難しいところもあるので、解説を増やしたり、写真を差し替えたりなど理解を深めるための工夫も必要」との意見も多数寄せられました。次期教程の改定について、今後も積極的に意見などおこなっていきます。

～ 2026年度の方針～

1. 京都スキー協議会会員のスキー技術向上とスキーの楽しさを広める活動をすすめる
京都独自の指導員研修会（座学・雪上研修）の実施
初級指導員の養成と育成
会員内外のスキーヤーとの交流
2. 指導員の役割の発揮
指導員自身のスキー技術の向上
講師依頼（スキー協行事・クラブ行事・他団体行事など）に対して積極的な参加
スノースポーツの事故が増加しているなかで、安全なスキー技術やマナーの発信
3. 京都スキー協行事への積極的なかわり
京都スキー協のスキーツアー成功に向けて参加の呼びかけと運営に積極的に関わり
スキー講習を担当する
所属クラブ企画への積極的な参加の呼びかけ

- 4．全国スキー・関西ブロックへの結集 全国スキー協の前進に寄与する
指導員登録・資格研修会への参加
上位指導員検定への挑戦
競技大会、デモ選考会やテクニカルコンペへの積極的な参加
教程ビデオなどに気軽にアクセスできる工夫をおこなう

役員体制

- ・技術部長：藤岡 孝之（望峰） ・技術副部長：森田 英二(森の会)
- ・指導員事務局：佐野 薫(かぶりこーん)
- ・部員：早川 佳緒里(シティ)、小山 孝夫(望峰)、星 幸敏・瀬戸享明(雪おこし)
- ・菅沼千尋（かぶりこーん）・矢吹明弘（森の会）
- ・関西ブロック技術委員：森田 英二(森の会)・小山 孝夫(望峰)
佐野 薫(かぶりこーん)・藤岡孝之（望峰）
- ・全国技術部員：藤岡 孝之（望峰）

< 競技部 >

活動報告と 2026 年度方針(案)

部長：坂下和修(バーディカル)

部員：刈谷拓爾(バーディカル)、小山孝夫(望峰)、丸山和夫(雪おこし)、内藤栄子(森の会)

～ 2025 年度活動報告 ～

1．ポール陸トレ

日時：10月18日(土)14:00～16:30頃 場所：梅小路公園

参加者：9名(敬称略)坂下、刈谷拓爾、刈谷梓、橋本、中山、小山、森田、佐野、若林

2．京都スキー協 SL 練習会

1月7日(水)～1月9日(金) 2泊3日

戸狩温泉スキー場の予定でしたが、12月に予約しようとしたら、ポールバーン料金が2万円/日とのことで断念し、白峰アルペン競技場に変更しました。12月28日に白峰アルペン競技場より雪不足との連絡があり、SL練習会は中止しました。

3．京都スキー協 GS 練習会

1月22日(木)～1月24日(土) 2泊3日 木曽福島スキー場 常設ポール、GSの練習

1月18日に木曽福島スキー場よりGS常設ポールが1/23(金)休みと連絡があり、GS練習会は中止しました。

4．関西ブロック ポール練習会（東海ブロック企画に参加）

1月30日(金)夜～2月1日(日) 2泊3日 御岳スキー場

参加者：5名(敬称略)刈谷拓爾、刈谷梓、森浩之、森雪絵、小山

5．第52回全国スキー・スノボ競技大会 (主管：関西ブロック)

2月20(金)～2月22日(日) 湯ノ丸高原スキー場

参加者：4名(敬称略)刈谷拓爾、若林、丸山、瀬戸

要員：(敬称略)小山、坂下、森田、佐野、刈谷梓

6．東海・関西合同競技大会

2月28(土)～3月1日(日) 御岳スキー場

参加者：9名 刈谷拓爾、刈谷梓、森浩之、森雪絵、橋本、丸山、瀬戸、小山、坂下

全体：61名(東海32名、京都9名、滋賀13名、大阪3名、兵庫2名、和歌山2名)

7．関西ブロックのスプリングレベルアップ(主管：大阪)

4月4(土)～4月5日(日) 志賀高原一ノ瀬スキー場

東京スキー協のポール練習会に参加。

参加者：3名(敬称略)刈谷、橋本、小山

～今年度活動方針(案)～

1．ポール陸トレ

日時：10月17日(土)14:00～17:00 場所：梅小路公園

2．京都スキー協 SL 練習会

1月13日(水)～1月15日(金) 2泊3日 白峰アルペン競技場 宿泊：白山苑 予定

SLの練習、簡単なセットから始めてSLに慣れる。

関西ブロックに声かけ予定。

3．関西ブロック ポール練習会(東海ブロック企画に参加)

2月5日(金)夜～7日(日) 2泊3日 予定

場所：御岳スキー場 予定

4．第53回全国スキー・スノボ競技大会(主管：関越ブロック)

2月19(金)～2月21日(日)、湯ノ丸高原スキー場

5．東海・関西合同競技大会 2027

2月27(土)～2月28日(日) 御岳スキー場 予定

6．関西ブロックのスプリングレベルアップ(主管：兵庫)

4月3(土)～4月4(日) 志賀高原 予定

東京スキー協のポール練習会に参加。

<企画部>

活動報告と2026年度方針(案)

・企画部部長：早川、部員：佐々木、矢吹、佐野

～2025年度活動報告～

1．スキーの集い 10/24 低山ハイキング(伏見稻荷～蹴上)雨天の為 中止

(有志6名で開催)

2．スキー行事 2/15・16 ジョイナス 参加者 30名(会員25名、会員外5名)

・若干の収支赤字となった

・積雪もあり、広いバーンで講習するのに良い条件のスキー場だった

・2年連続で開催できた

・食事(但馬牛すきやき、かにすき)は継続

～ 2026 度活動方針案 ～

1．スキーの集い

ハイキング 新スポ連 ハイクファミリーイベントに交流参加
雪おこし企画 黒豆ほり等（企画部会共催）

2．スキー行事について

〔ジョイナスツアー〕

- ・場所 八チ高原スキー場
- ・日時 2027 年 2 月 13 日～14 日、好評だったツアーを継続する

〔日帰りツアー〕

- ・現地集合で検討する

〔ファミリーツアー〕 雪おこし企画

- ・現地集合で検討する

3．その他

京都スキー協議会を一般に PR するため、下記のいずれかを実施することを提案する。

- ・京都スキー協の案内チラシ作成 ホームページ/インスタグラム 連携
- ・京都スキー協の既存リーフ更新

< 機関紙部 >

～ 2025 年度の活動報告 ～

1. スキー協通信の発行は 5 回が目標でしたが、 No.284(12 月発行) No.285(2 月) No.286(5 月)の 3 回でした。
2. 機関紙部会（編集会議）は 10 月、11 月、12 月、1 月、4 月に行いました。会議の終わりに次回の開催日を決めるようにしてから、毎月のように開くことができました。
3. 作り手の確保や役割分担は徐々にすすんでいます、引き続き課題となりました。
4. ホームページは定期的に更新してクラブニュース、行事の報告、行事案内も随時掲載できました。

～ 2026 年度の活動方針（案）～

1. 「京都スキー協通信」と「京都スキー協ホームページ」が連携しながら、フェイスブックの「京都大人のスキー部」や SNS 部が発信するインスタグラムの情報とあわせて京都スキー協の活動を共有し、会員外にも紹介して会員拡大を呼びかけられるようにします。
2. スキー協通信の掲載情報を今までより短期に区切った内容にして、なるべく新しい話題をコンパクトなページにまとめて編集し、5 回の発行を目標にします。
3. 機関紙部の編集会議で紙面構成を検討したのちに、原稿や写真の依頼を運営委員会で行えるようにします。

< 安全対策部 >

～ 2025 年度活動のまとめ ～

1. 安全対策担当者の活動を進める
 - ・ 各クラブでのスキーツアーやスキー例会での安全対策部員の役割や具体的活動の交流が出来なかった。（高齢者スキーの傷害の防止と疲労回復のために）
2. 「安全基準」（冊子）等を広めていく。
 - ・ クラブ代表者にお世話になって、運営委員のメンバーと指導員には冊子「スノースポーツ安全講座」を、京都スキー協の会員には「スキー場安全マニュアル vol.1～vol.3」を配布することが出来ました。
 - ・ スキー協行事等の一般参加者にも配布し、普及していく活動が弱かった。
3. 受傷状況やスキー場環境等の状況の把握に務めていく。
 - ・ 残念ながら、本年度2名の受傷者が出ました。（昨年度は4名）
 - ・ 実態把握を進め、教訓等を全体に返していきたい。（報告書の活用）
4. 必要な学習を進めていきたい。
 - ・ 救命救急法講習会の実施は出来ませんでしたが、京都スポーツ連盟の協力も得ながら、実施の方向性が見えてきました。
5. 各保険への加入を呼びかける。
 - ・ スキー協会員の保険加入状況の実態把握が出来ませんでした。
 - ・ スキー協保険への加入を勧める活動が弱かった。

～ 2026 年度活動の方針（案）～

1. 安全対策担当者の活動を進める。
 - ・ 各クラブでのスキーツアーやスキー例会での安全対策部員の役割や具体的活動の中味の交流を進める。（高齢者スキーの傷害の防止と疲労回復のための活動）
2. 安全対策の冊子「スキー場安全マニュアル」等を広めていく。
 - ・ 本年度は、クラブからの要請等に応じて配布する。
 - ・ スキー協行事の一般参加者にも「スキー場安全マニュアル」等を配布し普及していく。
3. 受傷状況やスキー場環境等の状況の把握に務めていく。
 - ・ 実態把握を進め、教訓等を全体に返していく。（報告書の活用）
4. 必要な学習を進めていきたい。
 - ・ 本年度は、京都スポーツ連盟の呼びかけに積極的に応じて、救命救急法講習会に参加していく。
5. 各保険への加入を呼びかける。
 - ・ クラブ員の保険加入状況の実態把握を進める。
 - ・ スキー協保険への加入も勧めていく。

< SNS 部 >

前部長：早川

新部長：中島つ ・ 部員：中島ち

～ 2025 年度活動報告 ～

1 . ホームページ

ホームページの随時更新

2 . インスタグラム

各クラブからの投稿依頼が少なく、投稿数は 9 件に留まった。

フォロワー数も 21 人と少なかった。

ツアーの宣伝ができなかった

3 . その他

京都スキー協議会を一般に PR できなかった

～ 2026 年度活動方針（案）～

1 . ホームページ

ホームページの更新

各クラブ行事のホームページへの U P の充実

2 . インスタグラム

各クラブからの投稿依頼を倍増

他団体（新スポ連等）をフォローすることで、フォローバックしてもらう

一般参加者への行事の告知・参加者募集、各クラブ員の増員に繋げる

3 . その他

京都スキー協議会を一般に PR するため、下記のいずれかを実施することを提案する。

京都スキー協の案内チラシ作成 ホームページ/インスタグラム 連携

京都スキー協2025年度一般会計決算報告

収 入 の 部			
項 目		予算	決算
前期繰越金		381,463	381,463
年会費	@3,700		
	・シティ 11		40,700
	・森の会 14		51,800
	・バーディカル 5		18,500
	・かぶりこーん 6		22,200
	・WEスキー 5		18,500
	・望峰 24		88,800
	・ハッピーターン 8		29,600
	・西山スキー 3		11,100
	・雪おこし 17		62,900
	小計 93	344,100	344,100
印刷代			0
	小計	3,000	0
行事剰余金			
	小計	50,000	0
預金利息			1,806
雑収入	・関西ブロック初滑り補助金		8,000
	・関西ブロック会議費収入		17,000
	・関西ブロック印刷代		1,780
	・全国大会実行委員会会議費収入		12,000
	・懇親会残金		671
	小計	30,000	39,451
	(収入合計)		385,357
合 計		808,563	766,820

京都スキー協2025年度別途積立会計

収入の部	
項目	金額
前期繰越金	625,510
一般会計繰出	0
合 計	625,510

支出の部	
項目	金額
ジョイナススキー ツアー	21,389
次期繰越金	604,121

支 出 の 部			
項 目		予算	決算
連盟費	・全国スキー協会費	85,560	85,560
	・関西ブロック分担金	9,300	9,300
	・京都府連盟分担金	130,200	134,400
	・京都府連盟外参加負担金	1,000	1,000
	・全国総会分担金	3,000	0
	小計	229,060	230,260
事務所分担金	・ロッカー代	19,200	19,200
印刷代	・印刷機・コピー機使用料		12,260
	小計	20,000	12,260
郵送費	郵送代		330
	小計	5,000	330
会議費	・会議室使用料		10,000
	・総会会議室使用料		10,780
	小計	35,000	20,780
活動費補助	・技術指導員部	10,000	0
	・競技部	10,000	0
	・山スキー	10,000	0
	・企画部	10,000	0
	・安全対策部 印刷代 郵送代	10,000	18,310
	・機関紙部	10,000	11,619
	・SNS部	10,000	0
	・どうするスキー協	10,000	0
	小計	80,000	29,929
会議交通費補助	・全国理事会	5,000	0
	・関西ブロック会議	4,800	1,600
	・運営委員会	30,000	19,000
	・全国競技部会議	5,000	0
	小計	44,800	20,600
HPサーバー代		3,200	3,200
リーフレット代		6,000	0
ZOOM代		23,375	26,384
予備費	・総会マイク代		2,200
	・総会機材費		1,000
	・総会参加交通費補助		3,650
	・広告代		20,000
	・パーソナル編集長ソフト		8,980
	小計	342,928	35,830
(支出合計)		808,563	398,773
次期繰越金			368,047
合計		808,563	766,820

京都スキー協2026年度一般会計予算案

収入		支出		
項目	金額	項目		金額
前期繰越金	368,047	連盟費	全国会費(920×92)	84,640
年会費(@3700×92)	344,100		関西分担金(100×92)	9,200
印刷代	3,000		京都府連盟分担金	128,800
行事余剰金	50,000		(1,400×92)	
雑収入	30,000		府連盟外参加負担金	1,000
			小計	223,640
		事務所分担金(ロッカー代)		19,200
		印刷代		20,000
		郵送代		5,000
		会議室使用料		25,000
		活動費 補助	技術・指導員部	10,000
			競技部	10,000
			山スキー部	10,000
			企画部	10,000
			安全対策部	10,000
			機関紙部	10,000
			SNS部	10,000
			小計	70,000
		会議 交通費	関西ブロック会議	4,800
			運営委員会	25,000
			全国理事会	5,000
			全国競技部会議	5,000
			小計	39,800
		HPサーバー代		3,200
		リーフレット代		6,000
		ZOOM代金		26,384
		予備費		356,923
合計	795,147	合計		795,147

京都スキー協2026年度別途積立会計

収入の部	
項目	金額
前期繰越金	604,121
一般会計繰出	0
合計	604,121

支出の部	
項目	金額
一般	0
次期繰越金	604,121
合計	604,121

会計監査報告

新日本スポーツ連盟京都スキー協議会の2025年5月1日より2026年4月30日までの金銭出納に関する会計監査を行いました

現金、預金の管理及び金銭の入金、出金が正しく記帳され、執行されていることを確認しましたので報告します

昨今不安な世界情勢や日本の景気低迷などで人々の集まり等難しくなっているように感じますが

今後様々な活動を広く実施し、宣伝活動も行い会員数を増やすことが望まれます

2026年5月25日

会計監査

二宮 裕昭



会計監査

中山 亮



スキーマイト会計報告(2025/05～2026/04)

収 入			支 出	
繰越金		131,983	スキーマイト209号(40部)	11,520
森の会	13(13)	26,000	スキーマイト210号(39部)	10,944
望峰	7.2(7)	14,400	スキーマイト211号(39部)	10,944
シティ	4(4)	8,000	スキーマイト212号(39部)	10,944
かぶりこーん	6(6)	12,000	スキーマイト213号(39部)	10,944
雪おこし	4(4)	8,000	封筒第	6,600
ハッピーターン	3(3)	6,000	郵送料	11,313
バーディカル	1(1)	2,000	小 計	73,209
WEスキー	1(1)	2,000		
西山	0(0)	0		
一般	0(0)	0		
次年度分	1	2,000		
			次年度繰越金	139,174
合 計	39.2 + 1	212,383	合 計	212,383

()は現在の購読者数

今年度請求分の未納者はありません。

望峰の0.2人は209号で購読中止にされたため。

2026 年度 全国・関西・京都スキー協の行事予定一覧

- ・ 2026/8/22(土)～23(日) 全国スキー協・サマーセミナー 栃木県宇都宮市
- ・ 2026/8/29(土) 関西ブロック学習交流会 和歌山市内
- ・ 2026/10/17(土) 京都スキー協・ポールトレーニング 梅小路公園
- ・ 2026/11/1(日) 関西ブロック初中上級養成座学 京都スポーツ連盟事務所
- ・ 2026/12/5(土)～6(日)、7(月)～8(火) 中央研修会 志賀高原熊の湯
- ・ 2026/12/18(金)～20(日) 関西ブロック初すべり研修会 志賀高原一ノ瀬
- ・ 2027/1/13(水)～15(金) 京都スキー協・S L 練習会 白峯アルペン競技場
- ・ 2027/1/29(金)～31(日) 関西・東海ブロック合同ポール練習会 御岳
- ・ 2027/2/13(土)～14(日) 京都スキー協ジョイナススキー ハチ高原
- ・ 2027/2/19(金)～21(日) 全国スキー・スノボード競技大会 湯ノ丸高原
- ・ 2027/2/27(土)～28(日) 関西・東海ブロック合同競技大会 御岳
- ・ 2027/3/6(土)～7(日) 全国・スキーテクニカルコンペ&デモ選 志賀高原
- ・ 2027/4/2(金)～4(日) 関西ブロックレベルアップ研修会・検定会 志賀高原

* 関西ブロック会議：10月3日(土) 13:00～京都スポーツ連盟事務所

* 関西ブロック会議技術委員会：10月3日(土) 10:15～京都スポーツ連盟事務所



